

Trinity(三位一体)～平野中学校地域活動推進だより～11月24日

文責 地域連携推進主幹教諭 安永虎吉

【第3回コミュニティ活動推進委員会】

11月8日(月)の16:00から平野中学校の多目的室にて、第3回コミュニティ活動推進委員会が開催されました。

会には7地区それぞれに、区長、PTA地区委員各地区代表者2名、地区担当代表教師、地区代表生徒2名(1・2年生1名ずつ)の6名ずつが参加し、総勢50名程が一堂に会して話し合いを行いました。

今回は、『私たちが住んでいる地域を、10年後、20年後も住みたい地域にするために、今から取り組んだ方が良いことを考えてみよう』というテーマで話し合い、様々な意見が活発に出されました。

<会次第>

1 全体会

(1) 開会のことば

(2) 校長あいさつ

2 地区別話し合い

(1) 地区別自己紹介

(2) 区長様から

※11月～1月の地域行事の確認

(3) テーマトーク

「私たちが住んでいる地域を、10年後、20年後も住みたい地域にするために、今から取り組んだ方が良いことを考えてみよう。」

(4) 閉会の言葉



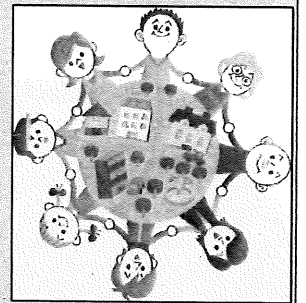
【テーマトーク：10年後、20年後も住みたい地域にするために】

<区長様から>

- 都会ではできないこと(例えば保育園や学校に車で送迎など)ができる。住みやすい地域である。中学生には、生活の基本、つまり挨拶などをもっとしっかりと行って欲しい。
- 公民館に遊びに来て欲しい。屋上を開放、卓球台など。公園の掃除(ゴミ捨ての禁止活動)、川掃除を行う。
- 子ども会の活性化。若い人と子どもを大切にする。
- 子どもと高齢者に優しい町、元気な町を目指している。行事を通して知り合いになり、つながりをつくる。地域の方々は、何かを投げたらすぐに協力してくれる。この状況を絶やさないようにしたい。
- 地域行事に参加して欲しい。

<地区委員さんから>

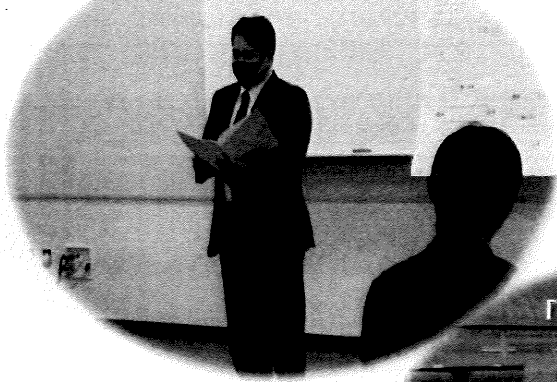
- 異年齢の交流の場をつくりたい。
- 思い出に残る行事をすることで、また帰りたい!につながる。
- 子どもたちが明るく活発な地域であって欲しい。公園で遊べるような地域。コミュニケーションを大事にしていきたい。
- 近所の方とのつながりが大切。一人暮らしの高齢者の方を把握しておく。
- 目に見えないところ(水路、みぞなど)を、災害を防ぐためにも掃除できれば良い。



<地区代表生徒から>

- コロナでイベントが減っているが、楽しいイベントや地域行事はこれからもなくならないで欲しい。
- 地域でのあいさつを活発にする。ボランティア活動への参加を増やす。
- あいさつ運動、ゴミ拾い、高齢の方の荷物を持ってあげる。地域への関わり、交流する行事を活発化する。
- 公園の清掃等に参加して、知り合いになったり、地域の環境をよくしたりする。
- 中学生と小学生の交流が大切。一緒にゴミ拾いをするなど。草むしりや花を植えるなどして、景観をきれいにする。
- 助け合える(一人一人がお互いを気遣い、いざというとき助けることができる)地域にしたい。

「校長先生から」



月の浦区



「つつじヶ丘区」



「南ヶ丘1区」



「牛頸区」



「南ヶ丘2区」



「平野台区」

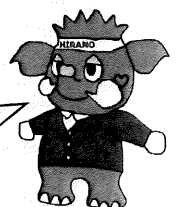


「若草区」



10年後も20年後も、皆さんが住みやすい地域、帰ってきたいと思う地域を、協力し合いながらつくっていききたいですね。

少しずつ地域の行事も再開され、ボランティアに参加できるようになってきました。これからの地域行事に積極的に参加しましょう！



コミュニティ活動推進委員会に参加した皆様ありがとうございました！！

